

再評価チェックリスト

1 事業概要

事業の名称	三鷹都市計画道路3・4・12号線		評価該当要件	10年間継続	1回目
実施主体	東京都	事業所管部署	道路建設部街路課		
都市計画決定(当初)	昭和37年度	事業認可年度(当初)	平成24年度	事業期間: H24年度~H30年度	
都市計画決定(最新)	昭和37年度	事業認可年度(最新)	平成30年度	事業期間: H24年度~R5年度	
事業箇所	三鷹市北野三丁目 ~同市北野二丁目		事業規模	評価対象区間延長 840m	
事業概要	<p>三鷹市都市計画道路3・4・12号本村井の頭公園駅前線は、三鷹市新川六丁目から同市井の頭三丁目に至る計画延長約4.1kmの都市計画道路である。</p> <p>本事業区間は、三鷹市北野三丁目から同市北野二丁目に至る延長840mの区間である。</p> <p>本路線周辺では、外郭環状線(以降、外環と標記)の中央JCT(仮称)が整備中</p> <p>本路線は、外環の事業に合わせて整備する路線に位置付けられている。</p> <p>本区間の整備により、東八道路IC(仮称)周辺において、交通の円滑化が図られるとともに、歩行者の安全が確保される。避難道路としての機能が確保され、地域の安全性・防災性が向上する。</p> <p>また、電線類の地中化、環境施設帯の設置、植栽帯等の整備を行うことにより、快適で安全な歩行者空間、良好な都市景観が創出される。</p>				

2 社会経済情勢等の変化(事業の必要性等に関する視点)

社会経済情勢等の変化(認可時点から変化がある場合は変化・変更内容欄に記載)
<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本路線周辺の平成27年度の現況交通量は、平成22年度と比較して約850台減少。</p> <p>現況自動車交通量(道路交通センサスによる)</p> <p>【吉祥寺通り】</p> <p>平成22年度: 7,402台/12h</p> <p>平成27年度: 6,544台/12h</p> <p>(関連する他事業等の進捗状況の変化)</p> <p>【三鷹3・2(牟礼)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成12年度に事業着手しており、用地100%で工事は実施中(令和元年に交通開放) <p>【三鷹3・4・3(北野三丁目)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に事業着手しており、用地は100%で工事は未実施 <p>【補助219号線、三鷹3・4・3(北野一丁目)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に事業着手しており、用地は0%で工事は未実施 <p>【三鷹3・4・11(北野三丁目)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に事業着手しており、用地は100%で工事は未実施 <p>【調布3・4・17(緑ヶ丘)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に事業着手しており、用地は38%で工事は未実施 <p>【三鷹3・4・12(緑ヶ丘)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に事業着手しており、用地は100%で工事は未実施 <p>【調布3・4・18(Ⅱ期)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に事業着手しており、用地は5%工事は未実施

3 事業の投資効果(事業の必要性等に関する視点)

定量的効果 B/C	2.7		
現在価値化総便益額(B)	135.0億円	現在価値化総費用額	49.5億円
走行時間短縮便益	118.3億円	工事費	7.9億円
総交経費減少便益	14.2億円	用地費	39.4億円
交通事故減少便益	2.5億円	維持管理費	2.2億円
<交通>	<ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞の解消 物資流動円滑化への寄与 バスの定時性 迂回交通の減少 	<<らし>>	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用の転換・高度化 交通不便地域の解消 公共施設へのアクセス向上
<景観>	<ul style="list-style-type: none"> 都市景観の向上 	<安全>	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の減少 バリアフリー化 自転車や歩行者のための空間確保
<防災>	<ul style="list-style-type: none"> 緊急車両の走行 延焼遮断 災害時の避難路の確保 消防困難地域の解消 		

4 事業の進捗状況(事業の必要性等に関する視点)

事業費の執行状況 (R2年度末時点)			
	用地費	工事費	合計
全体事業費	5,416百万円	983百万円	6,399百万円
執行済額	5,415百万円	167百万円	5,582百万円
(執行率)	99.98%	17.0%	87.2%

用地取得状況 (R2年度末時点)		
取得予定面積(A)	既取得面積(B)	用地取得率(B/A)
11,973㎡	11,972㎡	99.9%
一定期間を要した背景、地元の理解・協力の状況		

・多くの地権者から事業への理解・協力を得られたが、一部地権者からの協力を得られず、用地折衝に時間を要した。

事業の進捗状況・残事業の内容

・用地は99%取得済であり、残る未取得用地についても早期更地化を目指し、折衝を進めている。

・搬入路設置工事及び排水管設置工事に着手。搬入路設置工事、排水管設置工事を実施したのち、街路築造工事、電線共同溝設置工事、企業者工事を実施する。

5 事業の進捗の見込みの視点

事業の実施のめど、進捗の見通し等
<ul style="list-style-type: none"> 残る未取得用地についても早期更地化を目指し、折衝を進める。 用地取得箇所の搬入路設置工事を進め、排水管工事、企業者工事、街路築造工事、電線共同溝設置工事を順次行い、早期完成を目指していく。

6 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性
(新工法の採用など)(事業手法、施設規模等の見直しの可能性)
<ul style="list-style-type: none"> 一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性は極めて少ない。 無電柱化にあたっては、東京都無電柱化計画(R3.6改定)を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む。
その他、日々の事業執行におけるコスト縮減等の取組み
<ul style="list-style-type: none"> 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。

7 対応方針(原案)

総合評価	<p>(事業の必要性等に関する視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通の円滑化が図られるとともに、歩行者の安全性が確保される。 避難道路としての機能が確保され、地域の安全性・防災性が向上。 電線類の地中化、植栽帯等の整備を行うことにより、安全で快適な歩行者空間を創出し、地域の利便性の向上、都市景観・都市空間形成に寄与する。 <p>(事業の進捗の見込みの視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地は99%取得済であり、残る未取得用地についても早期更地化を目指し、折衝を進める。 搬入路設置箇所から工事を順次行い、早期完成を目指していく。 <p>三鷹3・4・12号線は、交通の円滑化、地域の安全性・防災性・利便性の向上、良好な都市景観の創出の観点から、事業の必要性が高く、早期の効果発現を図ることが適切</p> <p>中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。</p>
対応方針(原案)	継続